

パネルディスカッション
日本の大学の
真のグローバル化に必要な
5つのこと

大学のグローバル化に必要な5つのこと

春入学と浪人～秋入学よりも重要なこと

複雑なアドミッションと合否判定基準～シンプルなアドミッション

ツールとしての日本語～アドミッションと日本語教育の連動

日本の大学のスタンス～今、求められる“お客様満足”の発想

日本留学のアドバンテージと大学の知名度～オールジャパンのプロモーション

春入学と浪人～秋入学よりも重要なこと

日本の大学を目指す場合のスケジュール

12月～3月APU・早稲田大学などごく一部の英語履修校の合否発表

※3月第一回日本留学試験出願締め切り

6月第一回日本留学試験

※7月第二回日本留学試験出願締め切り

早稲田大学など一部私立大学の渡日前出願・合否発表

11月第二回日本留学試験

11月から主要私立大学出願・二次試験

1月主要私立大学 **合否判定**

2月主要国公立大学出願・二次試験

3月主要国公立大学 **合否判定**

4月から留学生活スタート

中国国内の大学受験 スケジュール

9月

高校3年スタート

2月から4月

春期高考・**合否判定**

6月から7月

秋期高考・**合否判定**

9月

大学入学

欧米の大学を目指す場合のスケジュール

12月までにSAT・TOEFL受験完了～出願

3月までに **合否判定**

9月から留学生活スタート

秋入学を導入しなければ、
留学生受け入れが進まないと考えがちだが
合否判定時期を欧米並みに繰上ることが可能なら
劇的に留学生が増える可能性がある。
ポイントは、前年度の1月から3月。
予算年度を越え、大学の学生募集が、留学生募集
からスタートすることができるなら、状況を劇的
に変えることができる。

複雑なアドミッションと合否判定基準～シンプルなアドミッション

日本の大学を目指す場合のアドミッション

共通試験の成績

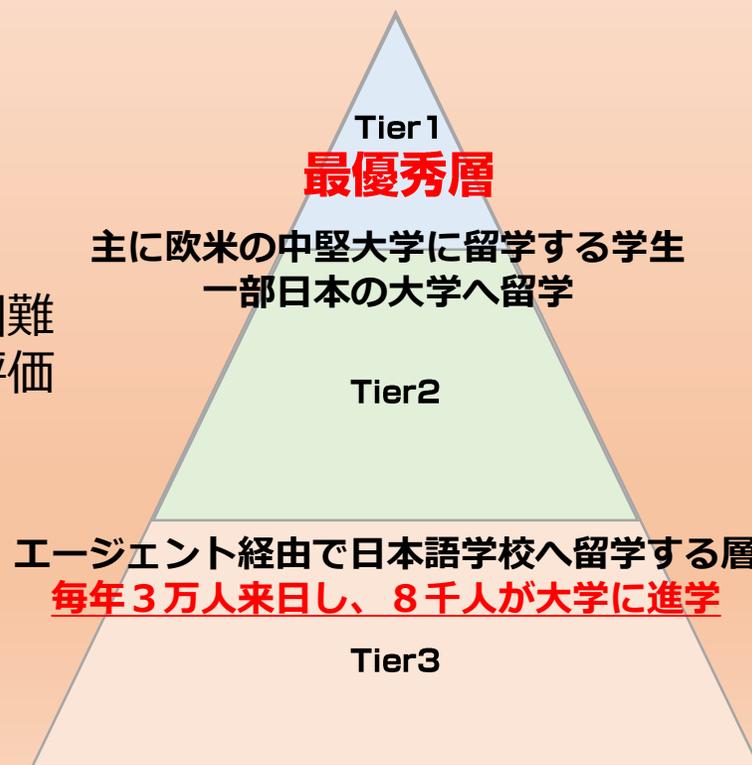
- ・日本留学試験得点
- ・TOEFL・IELTS得点

二次試験の成績

- ・日本で実施される個別試験の得点
- ※各大学間の連携がないため対策が困難
- ・日本で実施される面接・小論文の評価

日本では最近中国人留学生の
学力が落ちてきたという噂があるが
優秀な学生が日本を避けている
というのが真相である。
シンプルなアドミッションを実現し
優秀な学生の為の世界標準に合わせた
アドミッションプロセスを確立すべき。

私費海外留学45万人
(国内850万人 米国へ24万人)



欧米の大学を目指す場合のアドミッション

共通試験の成績

- ・SAT・ACT得点
- ・TOEFL・IELTS得点

参考にされる書類

- ・各国共通試験成績 (参考資料)
- ・エッセイ

その他

- ・スカイプや現地での面接

ツールとしての日本語～アドミッションと日本語指導の連動

アドミッションと日本語指導の連動

- 日本語能力ではなく
学生の学力を正當に判断できる体制
- 進学先が決定した以降の
日本語学習モチベーションに注目
- 中国の他、香港・台湾・韓国など
漢字圏の学生の日本語習得効率は非常に高い
- 合格者への効率的な日本語指導が必要



連合試験で帝京大学合格が決まった
「王鵬」くんからのメッセージ

現状の日本語能力に囚われない
学力で合否判定ができる体制が
必要とされている

従来の日本語学校

- 進学先未定のまま来日し日本語を学習する
- 本来必要な大学受験の為の
受験科目指導ができない
- 漢字圏以外の学生と日本語を学習する環境
- 学習期間は1年6ヶ月が一般的で
学生は多くの時間を浪費する
- 在籍期間の学費は100万円超
- 生活費も150万円程度必要

日本語能力が低い学生は合否判定の対象にはできないという保守的な認識があるが
優秀な漢字圏の学生は6ヶ月間で大学での学習に必要なレベルの日本語を習得できる。

日本の大学のスタンス～今、求められる“お客様満足”の発想

日本の大学のスタンス

- 留学生は日本の学生の次だという発想
例) 募集定員若干名の設定
- 大学選び・出願が困難
例) 統一サイトが存在しない
- 受験が困難
例) 来日しないと二次試験が受験できない
- 合否判定スケジュール設定がまずい
例) 日本のスケジュールでは敬遠される
- 入学手続きが困難
例) 送金問題

欧米の大学のスタンス

- 留学生はお客様だという発想
- 大学選び、出願が容易
例) カレッジボード・UCAS
- 受験が容易
例) 現地で受験が完結する
- 合否判定・入学手続きが容易
例) 現地のスケジュールと連動

**中国人は学費が払えない、奨学金がないと日本には留学しないという間違った噂があるが
アメリカ留学にかかる費用は日本の私立大学留学の3倍～4倍である。
さらにすさまじいペースでアメリカ留学者数が拡大しているという事実もある。
欧米は中国人留学生を裕福なお客様であると認識して対応している。**

日本留学のアドバンテージと大学の知名度～オールジャパンのプロモーション

日本留学の状況

- 留学拠点での情報発信がうまくいっていない
- 留学エージェントとはコンタクトしない
- 各国の教育機関との連携も皆無

- ゼミ制度など欧米にはない優れた教育制度がある
- 卒業後の日本での就職が容易

欧米への留学の状況

- 各国の留学情報拠点
例) EducationUSA、Britishcouncil
- 留学エージェントの存在
- 自国教育機関との細かな連携

- 卒業後の現地就職は困難

**日本での知名度がそのまま海外でも通用すると大学関係者は考えがちだが
実はまったく知られていないと認識するべきである。
欧米では留学後就職できる可能性はないが、日本では多数が就職している
日本の持つ魅力を束ねたオールジャパンのプロモーションが必要である。**